

## 都市対抗野球大会に 茂原市出身選手が出場

11月22日①から12月3日②まで東京ドームにて「第91回都市対抗野球大会」が開催され、本市出身の選手が出場しました。



▲都市対抗野球大会の聖地、東京ドーム

この大会は、社会人野球日本選手権大会と並ぶ二大会とされ、全国の企業やクラブチームによる各地方予選大会を勝ち抜いた31チームと前年優勝チームを加えた32チームが、所在する都市を冠して優勝を争います。

富里市所在チーム「ハナマウイ」の中山慎太郎さん（早野中出身）と梅澤孝弥さん（東中出身）、秋田県にかほ市所在地チーム「TDK」の三

河聖央さん（富士見中出身）が本大会に本市出身の選手として出場しました。各選手ともに、県内外の野球強豪高校と大学を経て、現在のチームに所属し、活躍をしています。

●出場した感想を伺いました  
ハナマウイ 中山 慎太郎さん  
「創部2年で東京ドームの地に立つことができ、関係者の皆様に心より感謝しています。」



ハナマウイ 梅澤 孝弥さん  
「本戦で勝つことができず悔しい思いをしたので、来年もう一度出場して、一つでも多く勝ちたいです。」



TDK 三河 聖央さん  
「大きな舞台を経験させてもらいとてもうれしく思います。来年また出場できるようにチーム一丸で戦っていきます。」



市民体育館大規模改修工事の一部に、「スポーツ振興くじ助成事業」を活用しています

「スポーツ振興くじ助成事業」は、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSSC）が導入している「スポーツくじ」の販売収益により、地方公共団体やスポーツ団体が行うスポーツ振興事業に対して助成を行うものです。本市においても、この助成を受け、市民体育館大規模改修工事の一部に活用しています。工事は順調に行われており、現在、4月1日①のリニューアルオープンに向けて準備を進めています。今回の工事により安全性が

高められ利用者がより安心して活動できるスポーツ施設となります。

※「スポーツくじ」（toto、BIG）はスポーツ環境の整備、充実などスポーツ振興施策を実施するための財源確保を目的として導入されています。



感染防止対策を徹底して行っています！

いまだ、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めず、さらなる感染拡大防止の注意喚起が示され、スポーツ教室においても「新しい生活様式」に則した事業実施を検討しています。今年度は、年度当初から全ての事業を中止していましたが、令和2年11月14日①に、ウォーキング教室を開催し事業を再開しました。あらかじめ参加人数を把握するため、事前申込とし、また、会場では、受付時の検温、体調確認など、徹底した対策

を行いました。



▲受付時に検温を実施

新型コロナウイルス感染症の発生状況により、事業の中止や延期も予想されますが、皆さんが安全に参加できるように徹底した感染防止対策を行っていきます。



▲当日の様子